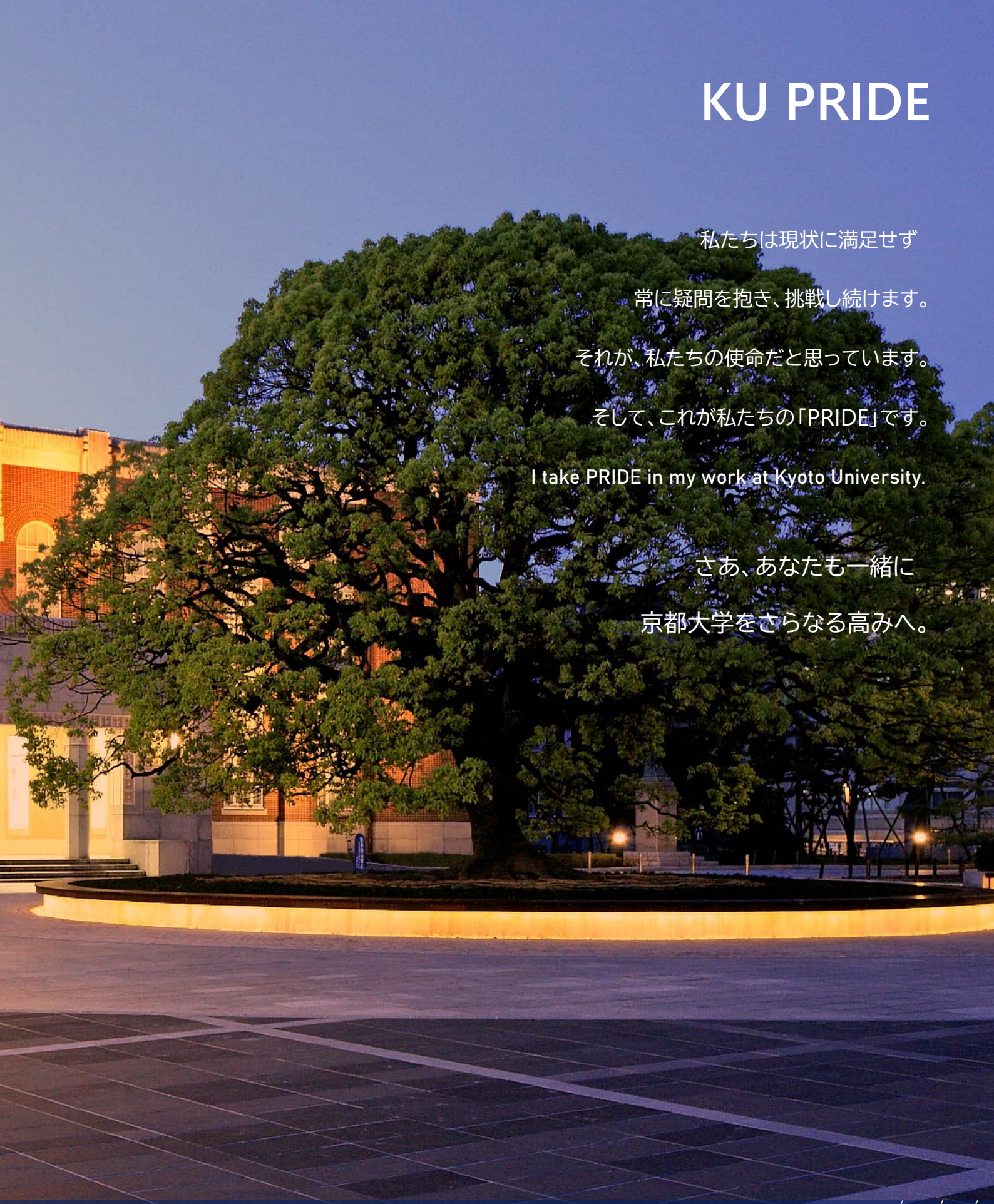
国立大学法人　京都大学

施設系技術職員〈仕事ガイド〉

INDEX

1 … 京都大学の施設系技術職員とは
3 … 施設系技術職員の仕事の流れ
4 … 各部署の紹介



KU PRIDE

私たちは現状に満足せず

常に疑問を抱き、挑戦し続けます。

それが、私たちの使命だと思っています。

そして、これが私たちの「PRIDE」です。

I take PRIDE in my work at Kyoto University.

さあ、あなたも一緒に

京都大学をさらなる高みへ。

5 … 職員インタビュー

8 … 仕事の様子

9 … 京都大学施設部座談会

12 … Q&A

13 … 若手職員に
いろいろ聞いてみた

京都大学の施設系技術職員とは？

京都大学の様々な施設やインフラの企画・設計・工事監理・維持管理などの業務を行い、大学組織の運営に関わっていく職員です。
建築系、電気系、機械系の３系があります。

京都大学について

国立大学法人で最多の研究所をもつ学術研究の拠点で、
京都だけではなく日本各地、海外にも多くの施設を所有しています。

- 複数の研究科や学部、研究所が入った施設、図書館、附属病院、食堂、保育施設、福利厚生施設及び、体育館など様々な施設、並びに広場や街路等を保有。
- 歴史的建造物から最先端の施設・設備が混在し、緑豊かなキャンパスを形成。
- 京都大学の建物の保有面積は、**約140万㎡**であり、**東京ドーム約30個分**にあたる。
- 施設整備にかかる年間の予算規模は**数十億円**。

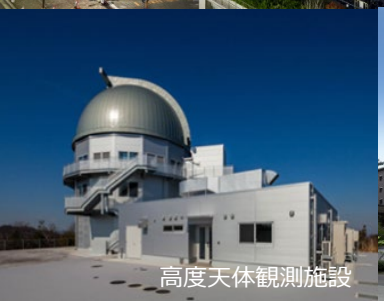
京都大学施設の例

施設系技術職員は、これら施設等の

南病棟

東南アジア地域研究研究所(東棟)

国際高等教育院


高度天体観測施設

国際科学イノベーション棟

南病棟

百周年時計台記念館

建築 Architecture

京都大学の歴史と伝統を醸し出すアカデミックな雰囲気を継承しつつ、一方で最先端の教育、研究を体現できるような空間を生み出すこと、そして、京都大学で過ごす学生、教職員に、より快適かつ生産性の高い、魅力的な環境を提供していくことが建築の役割です。その中でキャンパス環境や様々な施設の企画立案、設計、工事監理、維持管理を行います。

電気 Electricity

電気を作る(自家発電・太陽光発電)・受ける(受変電設備)・送る(電力ケーブル)・使う（照明・コンセント)から電気を使って通信する(火災報知・ LAN等)まで電気の通り道となるものなら何でも取り扱います。これら電気設備を設計や施工で見える形に仕上げ、電気を安全に使い続けられるように利用者の見えないところで維持管理をしています。

機械 Machinery

主に給排水・ガス・空調・消防・EV等の「機械設備」に関する分野の計画・設計・積算・工事発注・維持管理をしています。特にキャンパスの基盤となるインフラ設備を安定して供給させることが重要な役割です。また省エネルギー化推進のために建築設備機器の運用改善に関する調査・検討・管理等の施設マネジメント業務も行っています。

企画・設計・工事監理・維持管理などに関わっていきます。

高等研究院本館

国際交流会館宇治分館

附属図書館

桂図書館

吉田国際交流会館

カンフォーラ

百周年時計台記念館

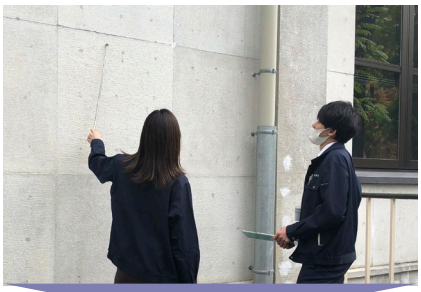
施設系技術職員の仕事の流れ

企画・計画

- 整備方針を定める
- 予算要求し、予算付与の可否を決定
- 新築・既存建物修繕等要望の取り纏め
- 官公庁との協議・調整

設計・積算

- 現地調査、ユーザーヒアリング
- 図面の作成、又は設計事務所へ委託
- 工事費積算
- 工事業者の決定



工事監理

- 各種検査の立会い
- 定例会議の開催
  - 月間工程・週間工程の把握
  - 現地での進捗確認

維持管理

- ユーザー満足度調査
- 定期点検
- 定期報告

完成後は、**機能的で良好な状態に維持向上**させていくことが施設系技術職員のミッションです。
また上記の仕事は、各部署で対応しています。

Tips　大学における施設整備とやりがい

大学の施設整備では、実際に施設を使用する先生方と近い距離感で仕事を進めていく必要があります。
先生方の理解を得られず、どうすれば納得していただけるかと説明方法を考えあぐねることもあれば、工事後に直接先生から感謝の言葉をかけていただき、「もっといいものを作ろう」と次の目標に繋がることもあります。
次ページに記載のとおり、大学における施設系技術職員の仕事は多岐に渡ります。様々な部署で積み重ねた経験を今向き合っている仕事に活かし、成長していくことで、さらに大きなやりがいを感じられます。

各部署の紹介

事務本部機能を有する施設部(以下5課)と部局を担当する事務部があります。

施設企画課　主な仕事：企画、計画、維持管理

施設部の窓口的な部署で、建物の新築や改修、施設整備や広場・道路等の屋外環境の整備、電気・給排水等のインフラ設備の整備等の企画・立案・予算要求を行っています。他には工事の入札・契約、建物の有効活用等スペースマネジメントも行っています。

環境安全保健課　主な仕事：環境・安全関連法への対応

主に環境関連法令や安全関連法令への対応として、省エネ対策や職場巡視など学内の取組を推進しています。より環境・安全に配慮したキャンパスづくりを目指して、国内外のネットワーク構築のための情報収集・発信なども行っています。

整備課 ※建築系職員のみ　主な仕事：設計、工事監理

新築や改修を行う建物の設計や積算、工事監理、検査を行い、完成した建物を使用者に引渡す業務を行っています。また設計事務所等との打合せを行ったり、現地の状況を把握するために利用者に対してヒアリングを実施します。デスクワークだけでなく工事の検査等、外に出て仕事を行うことがあります。

管理課 ※電気系・機械系職員のみ　主な仕事：設計、工事監理

教育・研究活動がより快適で充実したものになるように、大学にある建物やインフラ等の基盤を支える仕事をしています。
具体的には、水道・ガス・電気・空調等の建築設備に係るインフラの設計業務、工事監理業務、維持保全業務を行っています。

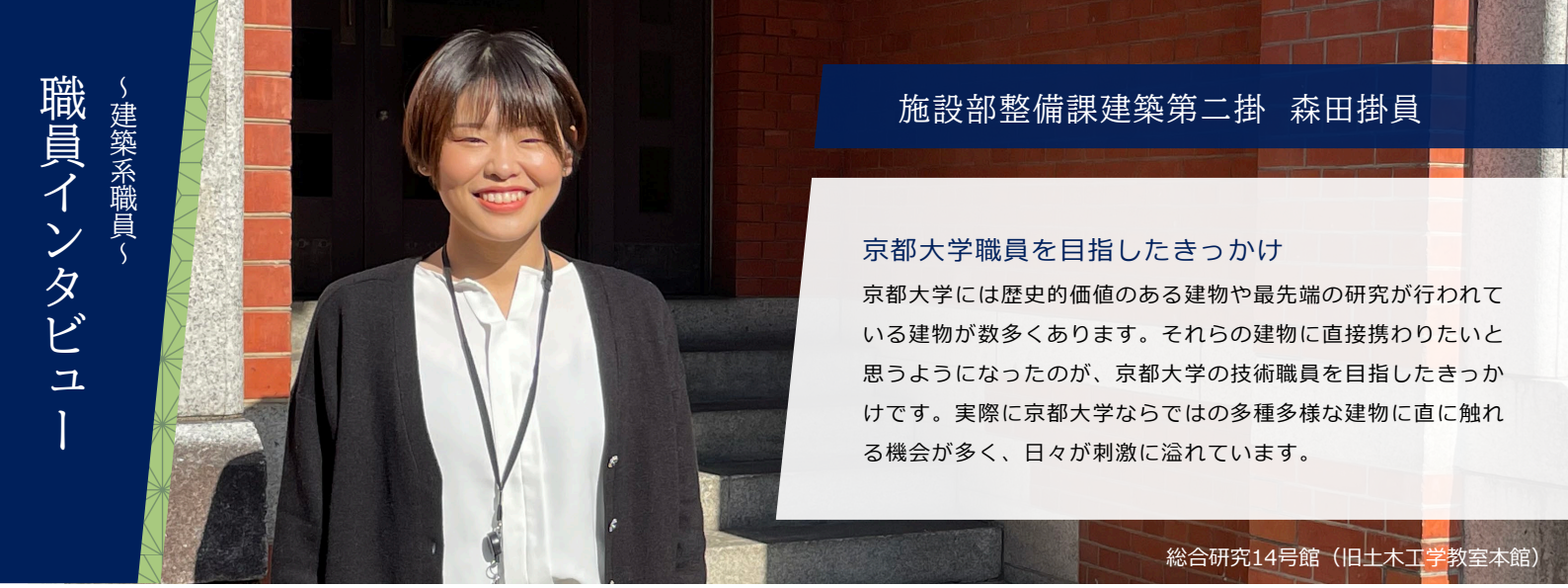
プロパティ運用課　主な仕事：資産管理・活用

大学の資産（土地・建物等）活用や教職員宿舎の管理を行っています。また本部構内にある多数の学部・研究所などが管理する建物の設備点検や施設の災害対策、研究室からの要望による電源増設や照明器具更新、内装改修や部分的な防水補修など、設備に関する業務を支援しています。

部局を担当する事務部　主な仕事：管轄の維持管理

吉田・宇治・桂の各キャンパス内と複合原子力科学研究所（大阪府泉南郡熊取町）に施設を担当する部署があり、管轄する部局の建物修繕や模様替えなど、教職員や学生と直接的に関わる業務を行っています。主な業務内容は、修繕工事の設計図作成や工事監理、建物点検や工事内容を説明するための資料作成です。

職員インタビュー
～建築系職員～



施設部整備課建築第二掛　森田掛員

京都大学職員を目指したきっかけ

京都大学には歴史的価値のある建物や最先端の研究が行われている建物が数多くあります。それらの建物に直接携わりたいと思うようになったのが、京都大学の技術職員を目指したきっかけです。実際に京都大学ならではの多種多様な建物に直に触れる機会が多く、日々が刺激に溢れています。

総合研究14号館（旧土木工学教室本館）

■ 1日のスケジュール　平常時

8:20 出勤
8:30 メール確認、予定確認
9:00
10:00 ◆現地確認
11:00 ◆資料確認
12:00
13:00 ◆昼休み
14:00 ◆図面作成
15:00
16:00
17:15 退勤

◆現地確認

工事現場にて業者と打合せを行います。

設計図書と工事現場に相違がないか（配筋の間隔、解体範囲等）チェックを行い、指摘事項があればその場で業者に指示をします。（現地確認後打合せを行いまとめて指摘事項を業者に指示する場合もあります）

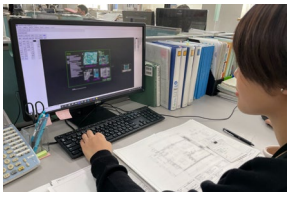
◆資料確認

業者から提出された資料の確認を行います。

◆図面作成

担当している案件の図面を作成します。（使用CADソフトはJWWCAD）

手持ちの資料だけで図面が描けないときは、実際に建物を測量しに行きます。



■ 1日のスケジュール　繁忙期

8:20 出勤
8:30 メール確認、予定確認、上司と打合せ
9:00
10:00 ◆図面修正
11:00
12:00 ◆昼休み
13:00
14:00 ◆文科省に提出する資料作成（積算資料）
15:00
16:00
17:00
18:00 ◆明日の準備
19:00
19:30 退勤

◆図面修正

上司との打合せでチェックされた図面を修正します。

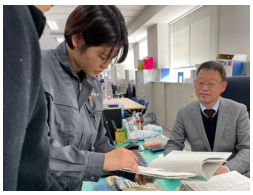
◆文科省に提出する資料作成（積算資料）

設計図や仕様書、業者に依頼した見積書や単価が記載された資料から材料・数量・単価を算出することで合計金額を出し、工事を行う上で必要な費用の見積もりを算出します（積算）。

文科省などへ提出する重要な資料となるため、他の課と連携しながら積算資料を作成します。

◆明日の準備

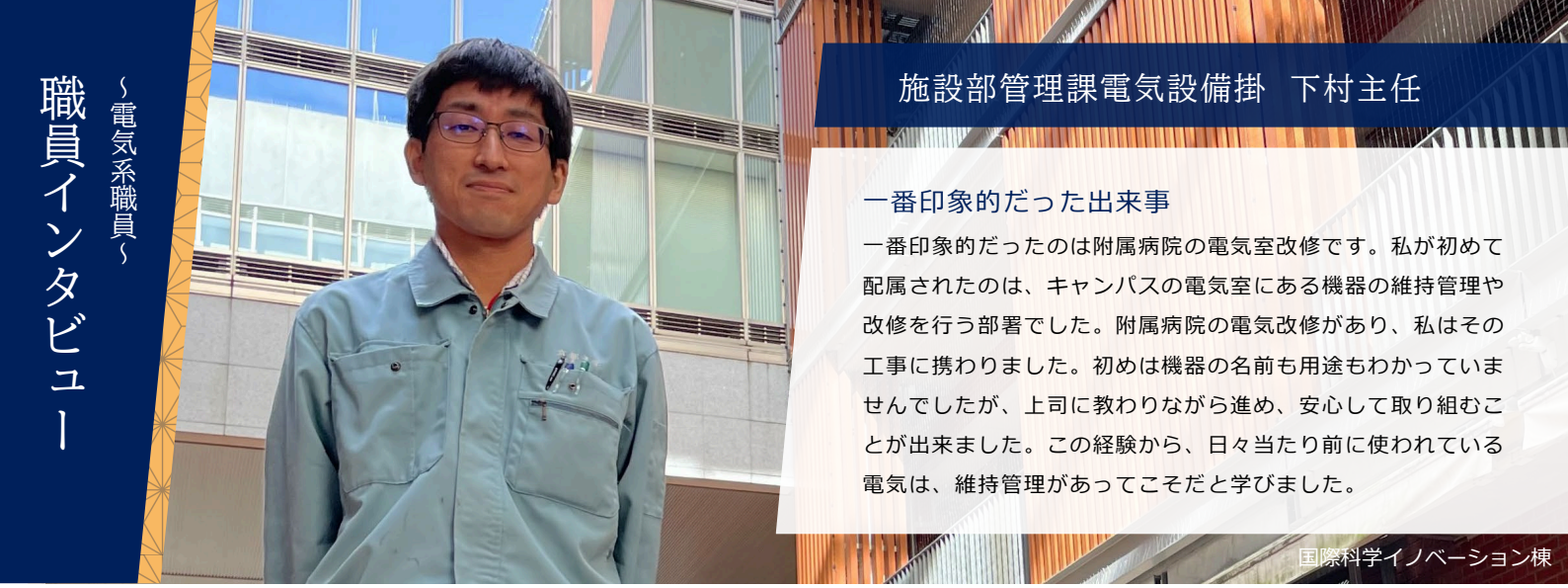
翌日の業務に使用する資料を読み込み、準備をします。



Tips　1年目は具体的にどのようなことをしましたか？

1年目は必ず同じ掛の掛長もしくは主任と一緒に仕事をするので、図面の作成・積算のやり方や、現地に同行して上司がどのように仕事をしているかを隣でみて勉強していました。慣れてくるとそれらの仕事を徐々に任せてもらえるようになります。

職員インタビュー ～電気系職員～



施設部管理課電気設備掛　下村主任

一番印象的だった出来事

一番印象的だったのは附属病院の電気室改修です。私が初めて配属されたのは、キャンパスの電気室にある機器の維持管理や改修を行う部署でした。附属病院の電気改修があり、私はその工事に携わりました。初めは機器の名前も用途もわかっていませんでしたが、上司に教わりながら進め、安心して取り組むことが出来ました。この経験から、日々当たり前に使われている電気は、維持管理があってこそだと学びました。

国際科学イノベーション棟

■１日のスケジュール　平常時

8:20 出勤
8:30 資料作成 予定確認
9:00
10:00
11:00 図面修正
確認内容を元に図面の修正を行います。
12:00 昼休み
13:00
14:00 現地確認
工事予定の現地確認を他の課や部局と一緒に行います。
15:00
16:00
17:15 退勤

◆図面確認

建物の設計図面をもとに工事内容の検討を行います。
配線経路について支障等が無いか確認し、もし支障があれば、他の部署と調整等を行いながら建物の完成に向けて打ち合わせを重ねていきます。

◆施工業者との打合せ

進行中の工事について、工程通りに進行しているか確認を行います。また現地で発生した問題をどのように解決するか等の検討を行います。

■１日のスケジュール　出張時

前日からホテル泊まり
8:30
9:00 打合せ①
現地調査の前に業者と情報のすり合わせを行います。
工事現場が遠方の場合、約１か月に１回現地に赴きます。
10:00
11:00
12:00 昼休み
13:00
14:00
15:00 打合せ②
現地確認で新たに出た懸案事項等をどのように対応していくかを業者と議論をします。
16:00
17:15

◆現地確認

遠方の工事では頻繁に足を運ぶことが出来ないため、ここでの確認作業は先の工程を十分に意識する必要があります。

研究棟（瀬戸）

◆退勤

打合せが終わり次第、新幹線で帰ります。現地の状況や場所によってはもう一泊することもあります。

Tips　現地での工事監理とはどのようなことをするのですか？

本大学が発注した工事について、施工業者が設計図通り施工しているかの検査や確認、打合せといったことを現地で行います。図面に記載された機器が仕様書通り納入されているか、鉄筋が図面通りと配筋されているか、工事が問題なく進捗しているか等、施設系技術職員の担当者が工事現場で確認を行い、施工業者が問題なく工事を行っているかチェックします。

職員インタビュー
～機械系職員～

施設部管理課機械設備掛 小林掛長

京都大学職員としてやりがいを感じる時

私の仕事は主に工事の発注、工事監理です。一つの案件が無事完了したときに一番のやりがいを感じます。京都大学は他大学に比べて工事の規模も大きく、調整内容も多岐にわたり大変なことも多いですが、やり終えたときの達成感も大きいです。

法経済学部本館

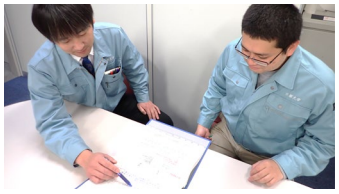
■１日のスケジュール　平常時

8:15 時間に余裕をもって出勤

8:30 ◆メール確認・部下への指示

本日の予定確認やメールのチェックを行います。

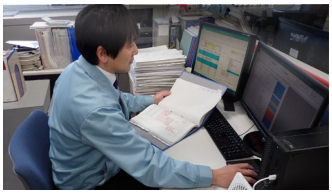
午後に定例会議がある為、それにかかる作業の指示を部下へ伝えます。



9:00 ～ 12:00 ◆資料作成　確認

部局に提示する資料の作成、業者から提出された資料のチェックを行います。

多くの人が見る資料の為、第三者でも分かりやすいような資料構成に努めます。



12:00 昼休み

13:00 ～ 16:00 ◆定例会議

現在工事進行中の現地に出向き打合せを行います。

16:00 ◆メール確認

◆翌日の準備

打合せで席を外している間のメールをチェックし、至急対応すべきものが無いかを確認します。

その後、翌日の業務内容の準備（資料作成や会議内容の再確認など）を行います。

17:15 退勤

■１日のスケジュール　特別な業務に従事した日

8:15 出勤

8:30 ◆メール確認等

9:00 ～ 12:00 ◆現地調査

工事の実施に向けて、設計事務所と共に現地を廻り、図面と異なっている点が無いか、施工可能かの確認を行います。

施行困難な部屋の場合、方針を決めるまでに１部屋３０分以上かかることもあります。

12:00 昼休み

13:00 ～ 16:00 ◆現地調査内容の確認

現地から職場へ戻り、調査内容を忘れないうちに、机上で施工方針の検討を行います。

現地調査で判明した不明点は、その日のうちに図面等で確認します。確認が出来なかった場合は、施工業者や他部署に関係資料の提供を依頼します。

19:30 メール確認

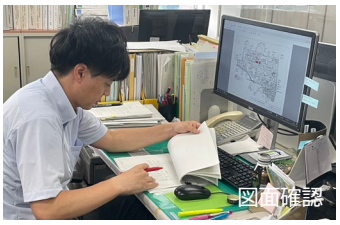
20:00 退勤

Tips　現地調査などデスクワーク以外の業務頻度について

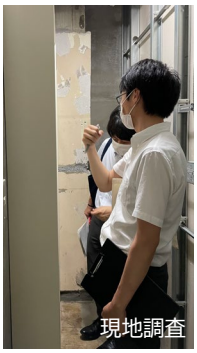
部署によって頻度は様々ですが、普段の業務はデスクワーク中心です。

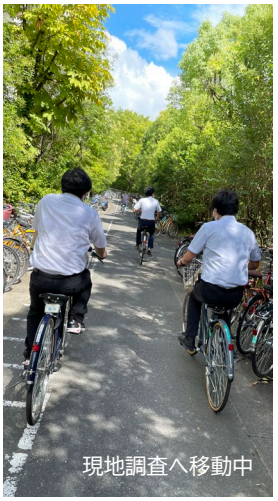
計画や設計を行う際は、現地に出向いて調査・施設利用者にヒアリング等を行います。また工事中の建物があれば、現地に出向いて工事監理を行います。工事現場に常駐するのではなく、週に１回程度現場に行く程度です。施設にトラブル等が発生した場合、現地に駆け付けてトラブルの調査を行うこともあります。

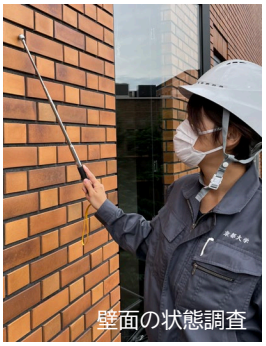
仕事の様子


図面確認

現地調査


現地調査


現地調査へ移動中


壁面の状態調査

工事中の現場確認

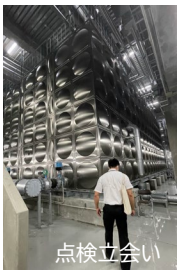
合同打合せ

図面作成

施工後
現地確認

図面押印

完成建物の見学


点検立会い

現地調査へ
移動中(熊取)

メール作業等

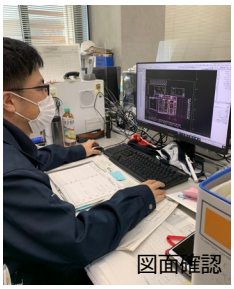
打合せ

打合せ

打合せ

電話対応

現地調査

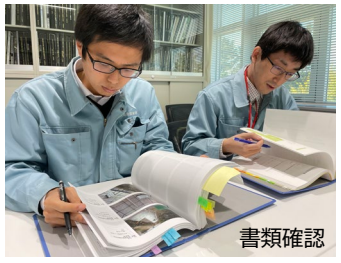

図面確認

消防用空地
現地調査

図面確認

書類確認

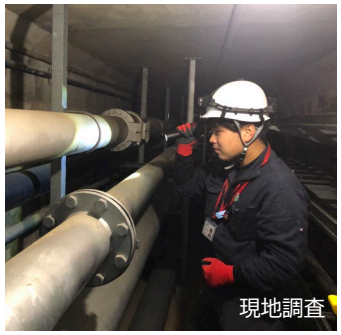
現地調査


書類確認

施工後
現地確認

現地調査

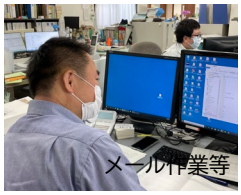
資料確認中


現地調査

現地の先生と
現地確認

現地調査へ移動

書類確認


メール作業等

打合せ

塀の状態調査

京都大学施設部座談会
～大学施設の未来をつなぐ職員たち～
≪課長補佐編≫

2020年撮影

Q.京都大学を目指したきっかけ、入職前後でのイメージの違いを教えてください

守山：学生もいっぱい居て活気があって自由な雰囲気を持つ大学がいいなあと思って目指しましたね。あとはデスクワークだけでなく、外に出てそこそこにフットワークのいい仕事がしたいという気持ちもあったので。

田村：私は企業から転職しようと思い、大学を訪問したときに「ちょっとした街づくりの仕事」と言われて、なんか面白そうだなと思って目指すようになりましたね。将来に向けて働き続けられると思えたのも判断材料でした。

守山：実際働いてみるとライフワークバランスがよく、プライベートが充実してる点もいいですよね。先輩にその話を聞いてより惹かれました。

堀田：私は公務員を目指していて、その中の一つに京大があったという感じです。入職前後のイメージとしては、何も調べずに京大の面接を受けたので、一番最初は用務員のイメージでしたね。建築として採用されて「何をやるのだろう？」と思っていたら、最初に配属されたのが企画課だったので工事とはあまり関係のない予算要求など事務的な仕事ばかりで入職前とのイメージにギャップがありました。

髙橋：私は学生時代に学校施設の勉強をしていたので、学校施設に関連する大学を目指しました。京都大学を選んだ理由は、病院があったり図書館とか博物館とか結構色々な建物があることに魅力を感じたからですね。入職前は、堀田さんと同じく「計画や現地を管理してるだけ」というイメージしかなかったんですけど、入ってからは維持管理や環境安全とか幅広い仕事なんだなと新鮮味を感じながら働いてます。

施設企画課　課長補佐（建）
堀田 浩志

平成6年入職　施設部企画課
平成8年異動　医学部附属病院
その後 神戸大学など6回の異動の経て
令和元年異動　現役職に至る

Q.部署異動などあると思いますが、異動の体験談やメリットデメリットを教えてください

髙橋：環境安全保健課に異動になったとき、ちょうど独立行政法人化して新しく環境安全保健課が出来た時で、課内全員が新しい仕事に手探りな感じでやっていました。そんな状態だったので、まだ掛員だったんですけど、目的を説明したら自由な発想でやらせてもらえて、やりがいがありましたね。あとは部局と本部では人の密度が違うことに驚きました。

守山：僕は最初、本部棟勤務でしたが設計・積算・現地監理に関することを覚えるのに必死で、部局に異動するまでは井の中の蛙でしたね。部局では先生方からいろんな相談を受け、仕事の幅広さを実感しました。現地に行って先生と直接関わることが多くて、施設の仕事に貢献してることが肌で感じられてよかったです。異動し様々なことを経験するのはとても重要な事です。

堀田：異動の際、緊張はしますけどデメリットは無いと思っています。異動によって交流が広がり知り合いが増えるので、仕事で聞きたいことがあれば問い合わせできたり、大学の情勢について意見交換できたりします。学外異動での一番のメリットは、いろいろな人と出会える事や、京大ではできない色々な経験が出来た事です。

田村：私は他大学に異動してから京大に戻ってきたとき、京都大学の事業や業務の多さを改めて感じましたね。

環境安全保健課　課長補佐（建）
髙橋 裕美

平成9年入職　施設部企画課
平成11年異動　施設部建築課
その後 病院など4回の異動を経て
平成29年異動　現役職に至る

Q.これまでの京大の思い出（印象深い経験）を教えてください

堀田：新農場の整備や岡山県での天文台整備等、ちょっと変わった施設を担当する時は新鮮味がありました。他には、名勝庭園の復元整備の際は普段関わらない京都市文化財保護課や文化庁とどのように協議すればよいか分からず苦労しましたね。いかにして大学が有利に進めていけるのか作戦会議も沢山しました。

髙橋：部局での思い出なんですけど、部局って技術職員が多くいるわけではないので「建築だけ」とは言っていられなかったんです。だから自然と電気や機械、幅広く知識を積むことが出来ましたね。毎日立ち代わり業者の方や先生、いろんな人が相談に来た日々は特に記憶に残ってます。

守山：苦い思い出ではあるんですけど、ある建物の設備の収め方について、ルールから外れていたことが途中で発覚した時は色々ドタバタしましたね。

田村：ありましたね。まあそこは電気&機械「設備チーム」の腕の見せ所ですので、スペースを見つけてうまく収めました。

守山：いつも設備の収め方で苦労したり、うまく収まらず建築さんに苦労を掛けてばかりなので、何とか竣工してほっとしました！

管理課　課長補佐（電）
田村 哲哉

平成13年入職　施設部電気情報設備課
平成15年異動　奈良高専
その後 滋賀医科大など2回の異動を経て
平成29年異動　現役職に至る

Q.業務で心掛けていることを教えてください

堀田：コミュニケーションをとること、技術だけに限らず事務など色々な情報を取るようには心掛けてますね。

守山：こちらもコミュニケーションは大切にしてて、聞きやすい、話しやすい職場環境を心掛けてます。

田村：上下関係や建築・電気・機械とか関係なく相談しやすく、仕事しやすい環境になってると思います。

堀田：昔は建物を作る際に建築・電気・機械で、それぞれ拘りがあるのでバチバチやっていて怖いイメージでしたけど、いまの人たちは仲がよく、よい職場だと思います。

髙橋：よく相手の立場に立って考えることを心がけていますね。書類やメール、相談や話し合いとか。書類だったら後から見た人がこの文章を見て理解できるか、話し合いなら自分の意見をぶつけるだけじゃなく相手の意見や立場もきちんと聞いてとか。

堀田：失敗してもすぐには怒らず、きちんと最後までは話を聞くとかですね。

守山：そうそう。部下が一人で抱え込まないよう気にしています。

WG：なるほど！フォロー体制万全の風通しがいい職場ということが伝わってきますね。

管理課　課長補佐（機）
守山 聡

平成11年入職　施設部機械設備課
平成16年異動　理学研究科
その後 環境部など5回の異動を経て
令和2年異動　現役職に至る

NEXT PAGE▶

Q.どんな人材を求めますか？若手に期待することも教えてください

堀田：こだわりを捨てる必要はないんですけど、素直な人と一緒に仕事がしたいですね。経験は働き出したらついてくるので、プレッシャーは感じずとにかくたくさん経験を積んでほしい。失敗も重ねながら、失敗したことが次の時には改善出来て、それが楽しいと思えるように成長していってもらえればと思います。

髙橋：いろいろなことに興味が持てる人はぜひ京大に来てもらったらいいと思います。施設の仕事1つ取っても、いろんな仕事が幅広くあって、それこそ建築で入っても電気や機械の工事に関わることもありますし、しなければならない状況に立たされることもあるので、あまり狭い視野で物を見ずに広く興味を持てるように是非してもらいたい。失敗してもいいから何事にもチャレンジしていただければと思います。

守山：自分にハードルを作って、そのハードルを超えようという気持ちが強い人や「俺に任せとけ！俺がやったるで！」みたいに前向きな行動をしてくれる人に来てほしいですね。大きな仕事に挑戦させてもらえるし、影でしっかりフォローしてもらえてるから、ぜひ飛び込んできてほしいです。

田村：趣味をもっている、そしていろいろなものに興味をもって「これはどうだろう」と楽しみを見つけられる人が良いと思います。仕事につながることもあるし、仕事のストレス発散にもつながりますので。期待する事は、失敗を恐れずに飛び込んでくれることですかね。失敗しても周りが必ずカバーしてくれるので。

WG：素直で、いろいろなことに興味が持てて、前向きで、趣味でストレス発散出来て・・・

髙橋：やはり素直に話を聞けることは大前提ですかね。

田村：そうですね。コミュニケーションも大切ですね。

堀田：気兼ねなく話せる場、フォローできる環境がありますから、奥手でも大丈夫です。内に秘めたるものがあれば、入職してから光ってきますので。

WG：つまり、話が素直に聞けて、何か一つ光るものを持っている人ということですかね？

堀田：そうですね。光らせるのはこちらの仕事なので。

守山：ぜひ一歩踏み出して頂きたいです。

ご協力ありがとうございました！

座談会まとめ

このような職場環境で私たちと一緒に京都大学の未来を支えましょう！

京都大学では幅広い仕事ができる

4名の課長補佐のこれまでの経験について話を聞き、企画・計画・設計に関わらず、維持管理や環境安全等、幅広い仕事ができるところが京都大学で働く魅力の一つだということが分かりました。

特に「自分が担当した建物が教員や学生に使われることで研究に貢献していることを実感でき、とてもやりがいを感じる仕事だ」という言葉は印象に残っています。

利益を追求するのではなく、社会貢献を目的とした大学で今後も幅広い業務を経験できることが非常に楽しみです。

失敗を恐れず何事にもチャレンジする強い気持ち

4名の課長補佐の話を聞き、失敗しても周りが必ずカバーしてくれることから、様々なことに挑戦できる魅力的な職場環境であることに改めて気付かされました。

確かに上司や先輩職員の方々に気兼ねなく話すことができる環境であるため、失敗に対する不安をあまり感じることなく、幅広い業務に挑戦できています。

今後も前向きな気持ちで失敗を恐れず何事にもチャレンジし、多くの知識や経験を得て立派な施設系技術職員になれるように頑張ります。

コミュニケーションをとることの大切さ

今回の座談会で、より良い職場環境をつくるためには、コミュニケーションが必要不可欠であることを再認識しました。

実際、日々の業務から上司に報告、質問、相談がしやすい職場環境であることを実感しています。

今後も建築・電気・機械に関わらず様々な上司や先輩・後輩の技術職員、また教員や学生等、業務で関わる全ての人とのコミュニケーションを大切にしていきたいです。

Q&A

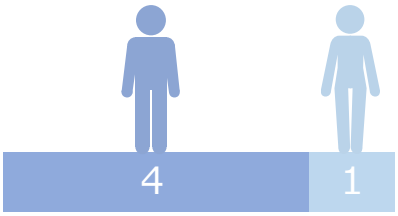
Q 京都大学施設系技術職員の構成は？（2021年5月現在）

全88名

20代15名、30代33名、40代以上40名

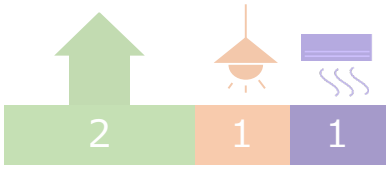
京都大学には近畿地区で最も多くの技術職員が在籍しています。他大学に比べ、教え合いや助け合いの出来る環境が整っているため、チームワークを発揮し日々協力しながら働いています。

男：女



近年は女性の採用者も増えています!

建：電：機



建・電・機　協力して仕事を進めます

Q 研修はどういったものがありますか？

京都大学では、入職１年目を対象とした「新規採用職員研修」を始め、「階層別研修」「スキルアップ研修」「職能別研修」「自己啓発支援制度」があります。
また、施設系技術職員には全国の大学職員を対象とした初任者研修や中堅研修などもあります。

Q 若手職員同士で交流はありますか？

たくさんあります。
建築・電気・機械系の技術職員が集まり専門知識を共有する専門部会・懇親会があります。また、チームを作って卓球やボーリングで対戦する総長杯もあります。

建築専門部会

Q 配属の希望は聞いてもらえますか？

年に１回、職員人事シートにより、自らの希望を伝える機会があります。配属先については、本人の適性・キャリア等を考慮し決められています。

Q 休日出勤はありますか？

平日にできない工事をする場合等には休日出勤が必要になりますが、振替休暇制度により休日出勤した日数分、平日に休みを振り替えることになります。頻度についてはその年の工事の物量によりますが、数日間休日出勤がある年もあれば、全くない年あります。

Q 服装はどのような感じでしょうか？

男性はスーツ&ネクタイやオフィスカジュアル、女性はオフィスカジュアルが多いです。現地に行く際は作業着と安全靴に着替えます。以下は一例です。

Q 照明器具の玉替えなどの仕事もするのでしょうか？

施設系技術職員が照明器具の玉替えなどを行うことは基本的にありません。専門の業者に発注し、施設の維持管理を行います。

Q 施設系技術職員が自ら設計業務に従事することはありますか？

大規模な工事については、設計事務所に業務委託しています。小規模な工事については、自分たちで調査を行い、学生や教職員等の施設利用者にヒアリングし、設計・図面作成を行っています。
業務委託をする場合でも、施設系技術職員が設計の方針を設計事務所にきちんと伝えて業務の目的が実現できているか、利用者の意向がきちんと反映された設計ができているかチェックします。施設系技術職員の意向も設計に反映させ、施設利用者にとって、より満足度の高い施設を作れるよう設計に関与していくことが求められます。

若手職員にいろいろ聞いてみた

就職活動

Q 学生時代の学科、研究科は？

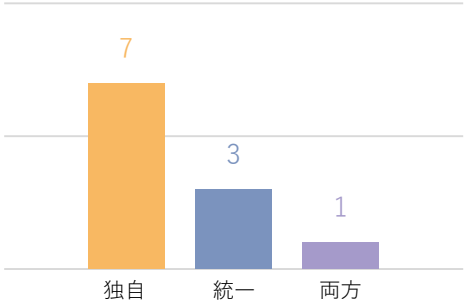
- 建築学科
- 生活デザイン学科
- 電気電子学科
- 電気情報科学科
- 機械工学科
- 理工学研究科

全員理系

様々な学科・研究科

業務をしながら学ぶ

Q 独自採用試験・統一採用試験どちらを受験しましたか？



人物見てます

独自採用試験と
統一採用試験は
併願が可能

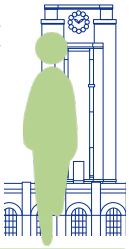
最近は
独自採用が多め

独自採用は
人物重視

Q 採用試験について何か準備しましたか？

- 京都大学の歴史を調査
- 施設系技術職員について調査
- 学科試験（統一）の勉強
- 教授に確認してもらい
  エントリーシートの内容を推敲
- 小論文や面接、集団討論の練習
- 業務説明会への参加、質問対策

説明会に参加して
質問したり
ネットで調べたり



キャンパス内を見て回ると新しい発見が

Q 他に受けていた業種は？

- ゼネコン
- メーカー（建築・電気・機械）
- デベロッパー
- 公務員
- 大学職員（事務・教室系技術・他大学施設系技術）

色々な業種を調べた結果、京都大学の施設系技術を選択

Q ズバリ志望理由は？

- 多様な年代、様式建物や施設を保有していて興味深かった
- 学生時代に足を負傷した経験から
  大学内を不自由なく利用できるようにしたいと思ったため
- 未来の研究者に快適な施設環境を提供することで支えたい
- 北海道から九州まで全国各地に施設がある
- 施主と設計者両方の立場が経験できる
- 計画から竣工その後のメンテナンス等
  幅広い業務が経験できる

幅広い業務に
携われる魅力

世界に卓越した知の創造拠点である
京都大学を良くしたい

全国に多種多様な
施設がある
京都大学の魅力

Tips 就職イベント

①業務説明会

技術職員の業務内容や採用に関する説明に加え、施設見学や職員との座談会など、職員の生の声を聞ける絶好のチャンス。

②インターンシップ

職場見学やグループワークを通して、より職場の雰囲気を感じていただけます。令和3年度は大学食堂の改築プロジェクトを行いました。理想の食堂を作るために、皆で意見を出し合い大盛り上がりでした。

少しでも気になった方は、ぜひお気軽にご参加ください！

若手職員に様々な内容のアンケートを実施しました。
その結果を抜粋して紹介します。仕事の環境・働きやすさ・就職に役立つ情報も！

内定

Q 内定後から入職日まで どのように過ごしていましたか？

・最後の学生生活を謳歌
　修士（卒業）論文作成

・日本国内外に旅行

・新居探しや引っ越し

内定者イベントで
入職前から
同期との交流も

・他内定者との交流イベントへ参加
　→施設見学やキャンパスツアー
　→クイズ大会等レクリエーション

遊び・研究
新生活の準備等
有意義に時間を活用

・施設系の先輩職員との顔合わせ

・大学構内、施設の見学

Tips 内定者・新入職者サポート

①NCS（New Commer's Supporter）

NCSは内定者をサポートするチーム。
不安な事はなんでも相談しよう！
グルメ・福利厚生等の情報発信や
内定者交流会も行ってます。

②施設部メンター制度

新入職者（メンティー）1名に対し
先輩職員（メンター）が1名つき
様々なサポートを行う制度。
職場の雰囲気や業務の進め方
様々な事を気軽に相談できるので、とても安心です！

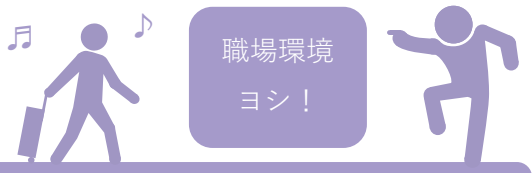
入職

Q 職場の「人」や「環境」について あなたの印象は？

・非常に穏やかな雰囲気です

・風通しが良く、上司も丁寧に仕事を
　教えてくれ、相談しやすい環境です

・多くの職員が計画的に有給休暇を取得
　しており、休暇を取得しやすい環境です



有休を取得して国内旅行に行きました！

多くの人がサポートしてくれるので安心

Q 実際に働いてみて、感じたギャップはありますか？

・思っていた以上に、電気・機械系の
　職員と協力し作業することが多い
　（建築系職員より）

・小規模な工事のみではなく、
　大規模工事も任せてもらえる
　※先輩職員のサポートは付いています

各部署で協力して業務を行うことがほとんど

Q 業務上もっともやりがいを 感じたエピソードは？

・新営工事にて内装の選定を担当した時、
　自分の考えが反映され残っていくことに
　感動し、大きなやりがいを感じた

・担当した病棟が完成した際には、
　仕事の成果が目に見え、大きなやりがいを感じた

・実験室等の故障した設備を修繕した際、
　先生から”直接”感謝の言葉を頂けた

・初めて担当した大規模な工事が滞りなく完了した

若いうちから
仕事を任せてもらえる

完成した時の感動は
何ものにも代え難い

Q このパンフレットを 読んでいただいている皆様へ一言！

・非常に働きやすい職場です。ご興味があれば是非、
　就職イベントに足を運んでください！

・学生や研究者を支えながら、京都大学を護り、
　創っていくお仕事です。ぜひ一緒に働きましょう！

・自分が担当した建物が完成していく様子だけではなく、
　完成後、実際に使用されている様子も見ることができ、
　仕事の充実感を多く感じられる
　一押しの職場です！

・パンフレットを読んで、
　京都大学施設系技術職員のことを
　少しでも知っていただき、興味を
　持っていただければ嬉しいです！

少しでも
気になったら
ぜひぜひ
ご応募を！

京都大学
キャンパスマップ

京都大学施設部（本部）はオレンジの場所にあります

Access

交通事情により、バスが遅れることがございます。 時間には余裕を持ってお越し下さい。

JR/近鉄 京都駅
「京都駅前」乗車 → 「京大正門前」下車
市バス206系統（祇園・北大路バスターミナル行）約35分

阪急 河原町駅
「四条河原町」乗車 → 「京大正門前」下車
市バス201系統（祇園・百万遍行）約20分

京阪 出町柳駅
百万遍方面へ徒歩約1km 約15分

京都大学

より詳しい情報は
上記のQRから

京都大学施設系技術職員業務紹介ムービー

京都大学施設系技術職員採用担当

チャンネル登録済み

この動画では京都大学で働く施設系技術職員の業務内容について、
建築、電気、機械のそれぞれの担当から紹介します

URL：https://www.youtube.com/watch?v=CcxTUEzSp3U

次の動画

1日の業務編
～京都大学施設系技術職員業務紹介ムービー～

この動画では京都大学で働く施設系技術職員の1日の業務を紹介します

URL:https://www.youtube.com/watch?v=3KY9z8ReQ-I

笑顔溢れる撮影の様子

KYOTO UNIVERSITY

国立大学法人　京都大学

施設系技術職員 仕事紹介ガイド

〔編集〕
京都大学 施設部 施設企画課 総括調整掛
京都大学 施設系技術職員独自採用WG パンフレット班
〔住所〕
〒606 - 8501 京都市左京区吉田本町
〔連絡〕
810soumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
075 - 753 - 2300 / 2305
〔発行〕
令和4年2月1日